

# 平成17年度 情報工学コース卒業研究報告要旨

長尾 研究室	氏 名	佐 橋 典 幸
卒業研究題目	構造化議事録を用いた 会議コンテンツ視聴支援システムに関する研究	

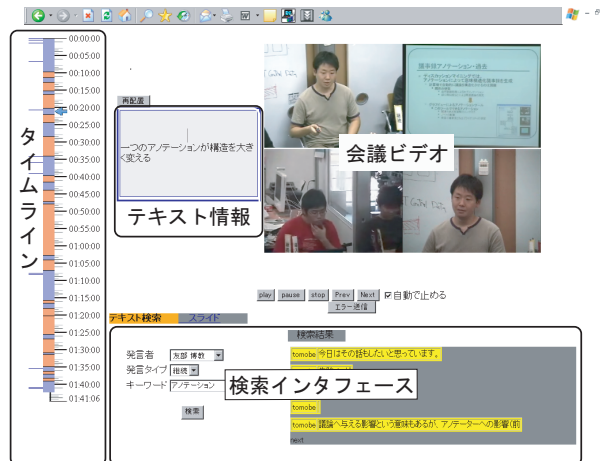
- 本研究の背景・目的

会議中に行われる議論では、人間の新たな発見のきっかけとなる知識が豊富に含まれている。それらの知識を、会議中のみならず会議終了後にも利用するために議事録を作成することは一般的に行われている。しかし、テキストによる議事録では、会議の雰囲気や会議参加者の様子、更には議論間の関係といった非言語情報の記録は困難である。このような情報が重要である可能性は十分にあり、それが存在しないために議事録からの知識発見が妨げられる場合がある。

そこで、本研究では議論間の関係も記録された構造化議事録と映像・音声を組み合わせたものを会議コンテンツとし、その効果的な視聴環境を構築する。会議風景をビデオに記録することで、会議参加者の発話内容はもちろん、会議の雰囲気や会議参加者の様子も記録される。一般に、会議ビデオをすべて視聴するには会議にかかった時間が必要となるが、構造化議事録を利用することで、会議ビデオの内のピンポイントな検索を可能とするインデックスを作成し、その効率的な視聴を可能にした。このシステムによって、議事録の再利用を容易にし、それからの知識発見を支援する。

- システム概要

会議コンテンツの視聴は下の図に示したインターフェースによって行う。このインターフェースには、会議ビデオを再生するだけでなく、映像と同期してその場面に関するテキストを表示する機能、会議全体を俯瞰できるタイムライン、会議中の任意の場面のキーワード等を基にした検索、各議論間の関連性を基にした推薦機能、視聴者による表示情報の取捨選択機能が用意されている。視聴者自身が状況や目的に応じ、これらを組み合わせることで、効率的な視聴を提供し、知識発見の支援を行う。



図：システムのインターフェイス